

令和4年度 川口市行政評価外部評価委員会 評価対象事業総括表

(単位：千円)

部会	事業名 (事業担当課)	外部評価結果に対する 今後の事業展開 (事業担当課)		予算編成状況		予算額の推移	
		課題解決 への取組み	事業の 方向性	令和5年度 予算要求 [事業担当課]	予算編成 結果 [財政課]	令和 4年度	令和 5年度
第一部会	① 自転車駐車場 施設管理費 (交通安全対策課) 【P1~2】	改善の 必要あり	改善の 必要あり	現状維持 (要求額:528,175)	一部減額	652,004	528,175
				【減額理由】 工事請負費について 新たに細々目を設定 し、要求替えしたため			
第一部会	② 幼稚園費 (教育総務課・ 庶務課・学務課) 【P3~4】	改善の 必要あり	抜本的 見直し	現状維持 (要求額:152,803)	一部減額	139,789	150,249
				【減額理由】 学校支援員の拡充分を 減額したため			
第二部会	③ ふるさと寄附金事業 (税制課) 【P5~6】	現状維持	現状維持	現状維持 (要求額:15,132)	要求額 どおり	15,652	15,132
第二部会	④ 企業立地推進事業 (産業労働政策課) 【P7~8】	改善の 必要あり	現状維持	現状維持 (要求額:16,259)	要求額 どおり	18,255	16,259

◆令和4年度外部評価事業の方向性について◆

1 自転車駐車場施設管理費 交通安全対策課

委員会評価結果	概ね適正	所管課における今後の方向性	改善
---------	------	---------------	----

(1)【委員会における総合的評価：コメント】
施設の立地、安全性、利便性も見直したうえで、実際に必要な駐車場を限定し、その場所に費用をかけ整備していく必要。主体の代替性ということで、センターや指定管理者等、民間活用導入の検討については、事業の効率化を図るうえで有効と考えられるため、今後も進めていただきたい。必要性の低い駐車場は休止や廃止を検討する必要がある。機械化への移行や、民間活用を導入するなど、より一層、効率的な手法を用いた運営に努める必要がある。
(2)【所管課が考える事業の今後の方向性：コメント】
新型コロナウイルスの影響により利用者が減少し、一般財源の割合が増加している中、運営については抜本的な見直しを行い、経費の削減を図る必要がある。その中で利用率の低い「幸町自転車駐車場」の継続については、今後、利用者アンケートを行う等、一時閉鎖も視野に調査・研究を行っていく。また、施設管理の見直しを図るための機械化等の導入については、現行の賃貸借契約期間も踏まえつつ、様々な方法を考慮しながら人件費の削減や利用者の利便性を向上を踏まえ、検討していく。運営方法の見直しについては、歳出・歳入の両面を精査したうえで、今後も調査・研究を継続していく。

2 幼稚園費 教育総務課・庶務課・学務課

委員会評価結果	抜本的見直し	所管課における今後の方向性	抜本的見直し
---------	--------	---------------	--------

(1)【委員会における総合的評価：コメント】
従来、費用の面で公立幼稚園は、優位性があったが、無償化に伴って優位性がなくなったと言える。園児数が少ないということは、P R 不足とも考えられるが、状況を鑑みると保育ニーズに対する課題の認識が十分ではないことが最大の要因となっている。今後については園の存続について抜本的な見直しも含め厳しい見直しの決断が必要。
(2)【所管課が考える事業の今後の方向性：コメント】
外部評価を重く受け止め、今後、地域への十分な説明等も踏まえながら2園の統廃合も見据えた総合的な検討及び判断をしていく。その検討を行うため、関係部局と連携を図り、今後の市立幼稚園の在り方を検討する部会等を令和5年度初期に立ち上げ、外部評価結果を踏まえた諸課題の解消を図るとともに、適切な将来像や事業運営について令和6年度の園児募集時まで市立幼稚園の方向性を決定できるよう検討していく。

3 ふるさと寄附金事業費 税制課

委員会評価結果	改善の必要あり	所管課における今後の方向性	現状維持
---------	---------	---------------	------

(1)【委員会における総合的評価：コメント】
事業全体を通じた総合的な評価としても重なることではあるが、返礼品において今後より一層のアイデアを提案していくことが重要である。今後、事業を推進していくうえで、様々なアイデアを取り入れていくには、税制課だけでは無理があるため、今一度事業を見直し、市全体で取り組んでいくような体制づくりを検討し事業を進めてほしい。
(2)【所管課が考える事業の今後の方向性：コメント】
返礼品の種類を拡充することは、市産品をP Rすることとともに、寄附金の増額にも繋がる。多種多様な産業が集積するまちである本市の特色を活かすことができるよう、経済部や産業団体などと連携のうえ、拡充に向けた取り組みについて、調査研究していく。

4 企業立地推進事業 産業労働政策課

委員会評価結果	改善の必要あり	所管課における今後の方向性	改善&現状維持
---------	---------	---------------	---------

(1)【委員会における総合的評価：コメント】
土地バンク事業は民間に対して優位性がなく、必要性に疑問がある。今すぐ止めるということにはならないが、この取り組みの今後の成果を見せてほしい。それによっては止めても良いのではないかと。企業立地補助金事業は、事業の効率化等を測定するためのアンケートを行い、補助金の効果性が上がるか等の分析、検証をしたうえで、事業の見直しを図っていく必要がある。
(2)【所管課が考える事業の今後の方向性：コメント】
土地バンク制度については、より実効性のある制度とするため、分かりやすい名称を補足するなど、今後の成果を検証しつつ、調査研究していく。企業立地補助金については、毎年3月に対象企業にアンケートを実施し、事業の成果を分析することにより、意義のある制度となるよう検討を続けていく。

令和4年度 外部評価委員会からの評価に対する対応方針について

事業名	自転車駐車場施設管理費	担当課	交通安全対策課	部会	第一部会
-----	-------------	-----	---------	----	------

【外部評価結果に対する担当課における方針の概要】

1 外部評価結果に対する今後の事業展開について	①課題解決への取り組み	委員会	改善の必要あり
		担当課	改善
	②事業の方向性	委員会	概ね適正
		担当課	改善

使用料収入で運営できていた状況から新型コロナウイルスの影響により利用者が減少し、一般財源の割合が増加している中、抜本的な見直しにより経費の削減が必要なことは理解している。

まず、利用率が低い「幸町自転車駐車場」については、再開発の予定が決まるまで閉鎖した場合、管理委託料は減額となるが使用料収入350万円も減収となる。施設の継続については、今後、利用者にアンケート調査を行う等、一時閉鎖も視野に調査・研究を行っていく。

また、機械化の導入については、「川口自転車駐車場」のゲートシステムの賃貸借契約が終了する令和8年度に合わせ、市内14箇所の自転車駐車場について、各駐車場の形態によりゲート・課金式ラックや交通系ICカードを導入することにより、人件費の削減や利用者の利便性を向上させることを目的として検討していく。

運営方法については、指定管理者制度の利用について検討しているが、利用料金制は利用者が減少する中で応募する業者があるか、また、市側は歳入が無くなっても、一般会計から修繕費等の歳出が生じてしまうことが懸念点である。一方、委託料制は業者側にメリットが無く、管理委託料の削減が図れるかどうか疑わしい。利用者が減少している状況においては、今後も調査・研究を継続していく必要がある。

2 令和5年度予算作成にあたっての考え方	予算計上の方向性	現状維持
----------------------	----------	------

指定管理者制度の導入などの運営形態の変更にあたっては1年以上の準備期間が必要であり、令和5年度予算に反映することはできない。令和5年度は、委託による管理運営方法を継続するが、どの自転車駐車場も最低限の人数で運営しており、人件費の上昇は避けられないところではあるが、比較検討などにより適正な金額での要求に努めた。

また、自転車駐車場の照明器具について、現在は蛍光灯の購入や交換、廃棄や修繕などを行っているが、電気料金の高騰やカーボンニュートラル実現に向けた取り組みとしてLED化するにあたり、初期投資やメンテナンス費用をかけずに電気使用量の削減を図るため、10年間のリース契約の予算を要求する。

3 予算編成結果

予算要求額	528,175 千円
財政課の 予算編成結果	一部減額
その理由	<p>今後の事業形態について、運営形態の変更や一部機械化等を検討していること、また、管理運営経費について人件費や光熱水費等一部増額要求ではあったものの必要最低限での要求であったため。</p> <p>なお、前年度と比べ予算額が減っている理由は、工事請負費について新たに細々目を設定し、要求替えしたことによるもの。</p>

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	当初予算額	前年度比
令和3年度	466,212	
令和4年度	652,004	185,792
令和5年度	528,175	-123,829

令和4年度 外部評価委員会からの評価に対する対応方針について

事業名	幼稚園費	担当課	教育総務課・ 庶務課・学務課	部会	第一部会
-----	------	-----	-------------------	----	------

【外部評価結果に対する担当課における方針の概要】

1 外部評価結果に対する今後の事業展開について	①課題解決への 取り組み	委員会	改善の必要あり
		担当課	改善
	②事業の方向性	委員会	抜本的見直し
		担当課	抜本的見直し
<p>幼稚園事業外部評価結果を受け、今後の事業展開としては、近隣地域への十分な説明を尽くしながら、公立幼稚園2園の将来的な統廃合も見据え、総合的に検討を重ねたうえで慎重に判断する。</p> <p>将来の判断に向け学校教育部として、関係部局と連携を図るとともに、今後の公立幼稚園の在り方を検討する会議を立ち上げ、外部評価結果を踏まえた諸課題の解消を図るとともに、適切な将来像や事業運営について鋭意検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年12月7日 校外教育及び公立幼稚園の在り方検討委員会 設置 ・ 令和4年12月20日 第1回校外教育及び公立幼稚園の在り方検討委員会 開催 ・ 今年度内に計3回開催予定 			

2 令和5年度予算作成にあたっての考え方	予算計上の方向性	現状維持
<p>令和5年度公立幼稚園費については、児童の教育環境の充実や保護者のニーズに応えるための予算要求を検討したものの、市長部局との協議の中において、より将来を見据えた大局的な視点や方向性を踏まえた予算編成が必要との結論となり、令和5年度予算に関しては、前年度と同程度となる予定である。</p> <p>いずれにしても、前述の在り方検討委員会での議論を踏まえ、今後の予算を編成していく。</p>		

3 予算編成結果

予算要求額	152,803 千円
財政課の 予算編成結果	一部減額
その理由	パートタイム会計年度任用職員の給与単価の改定ならびに物価高騰等の影響により、前年度予算から増額となっているが、公立幼稚園の現状及び今後の施設の在り方を検討する必要性を考慮して、学校支援員（アシスタント・ティーチャー）の拡充分について査定を行ったもの。

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	当初予算額	前年度比
令和3年度	137,747	
令和4年度	139,789	2,042
令和5年度	150,249	10,460

令和4年度 外部評価委員会からの評価に対する対応方針について

事業名	ふるさと寄附金事業	担当課	税制課	部会	第二部会
-----	-----------	-----	-----	----	------

【外部評価結果に対する担当課における方針の概要】

1 外部評価結果に対する今後の事業展開について	①課題解決への取り組み	委員会	改善の必要あり
		担当課	現状維持
	②事業の方向性	委員会	改善の必要あり
		担当課	現状維持
<p>返礼品の種類を拡充することは、市産品をPRすることとともに、寄附金の増額にも繋がる。多種多様な産業が集積するまちである本市の特色を活かすことができるよう、経済部や産業団体などと連携のうえ、拡充にむけた取り組みに向け、調査研究していく。</p>			

2 令和5年度予算作成にあたっての考え方	予算計上の方向性	現状維持
<p>ふるさと寄附金事業の作成については、毎年度、寄附の見込み額を基に積算している。</p> <p>今後も、返礼品の種類の積極的な拡充を予定しているが、令和5年度の歳出予算については、委託料の算定方法を見直したことにより、今年度とほぼ同額とした。</p>		

3 予算編成結果

予算要求額	15,132 千円
財政課の 予算編成結果	要求どおり
その理由	R3年度決算の執行率は94.4%となっており、必要最低限の予算要求であったため。

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	当初予算額	前年度比
令和3年度	11,117	
令和4年度	15,652	4,535
令和5年度	15,132	-520

令和4年度 外部評価委員会からの評価に対する対応方針について

事業名	企業立地推進事業	担当課	産業労働政策課	部会	第二部会
-----	----------	-----	---------	----	------

【外部評価結果に対する担当課における方針の概要】

1 外部評価結果に対する今後の事業展開について	①課題解決への取り組み	委員会	改善の必要あり
		担当課	改善
	②事業の方向性	委員会	改善の必要あり
		担当課	現状維持
<p>土地バンク制度については、より実効性のある制度とするため、分かりやすい名称を補足するなどし、今後の成果を検証しつつ、調査研究していく。</p> <p>企業立地補助金については、毎年3月に対象企業にアンケートを実施し、事業の成果を分析することにより、意義のある制度となるよう検討を続けていく。</p>			

2 令和5年度予算作成にあたっての考え方	予算計上の方向性	現状維持
<p>令和5年度予算については、現状維持しつつ、今後の事業展開を踏まえ検討を続ける。</p>		

3 予算編成結果

予算要求額	16,259 千円
財政課の 予算編成結果	要求どおり
その理由	R3年度決算の執行率は77.4%となっており、コロナウイルス感染症による需要も少なからずあると考える。今後、R4年度の進捗も含め、事業の効果を測ることで、方向性を見直していくものとし、要求どおりとした。

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	当初予算額	前年度比
令和3年度	20,950	
令和4年度	18,255	-2,695
令和5年度	16,259	-1,996